

2025年9月期 第2四半期  
(2025/1-3)

# 決算説明資料

2025年5月  
株式会社CSSホールディングス

## 第2Q累計 対前期減益予想が大幅に改善

	2024年9月期	2025年9月期 期初予測	2025年9月期 実績
売上高（千円）	9,135,179	9,700,229	9,886,044 (+8.2% / +1.9%)
営業利益（千円）	507,169	404,263	512,896 (+1.1% / +26.9%)
経常利益（千円）	520,557	409,025	530,374 (+1.9% / +29.7%)
当期純利益（千円）	323,589	265,866	302,833 (▲6.4% / +13.9%)
1株当たり当期純利益（円）	64.79	53.23	60.48 (▲6.7% / +13.6%)

※( )内は、前年比 / 期首予想比

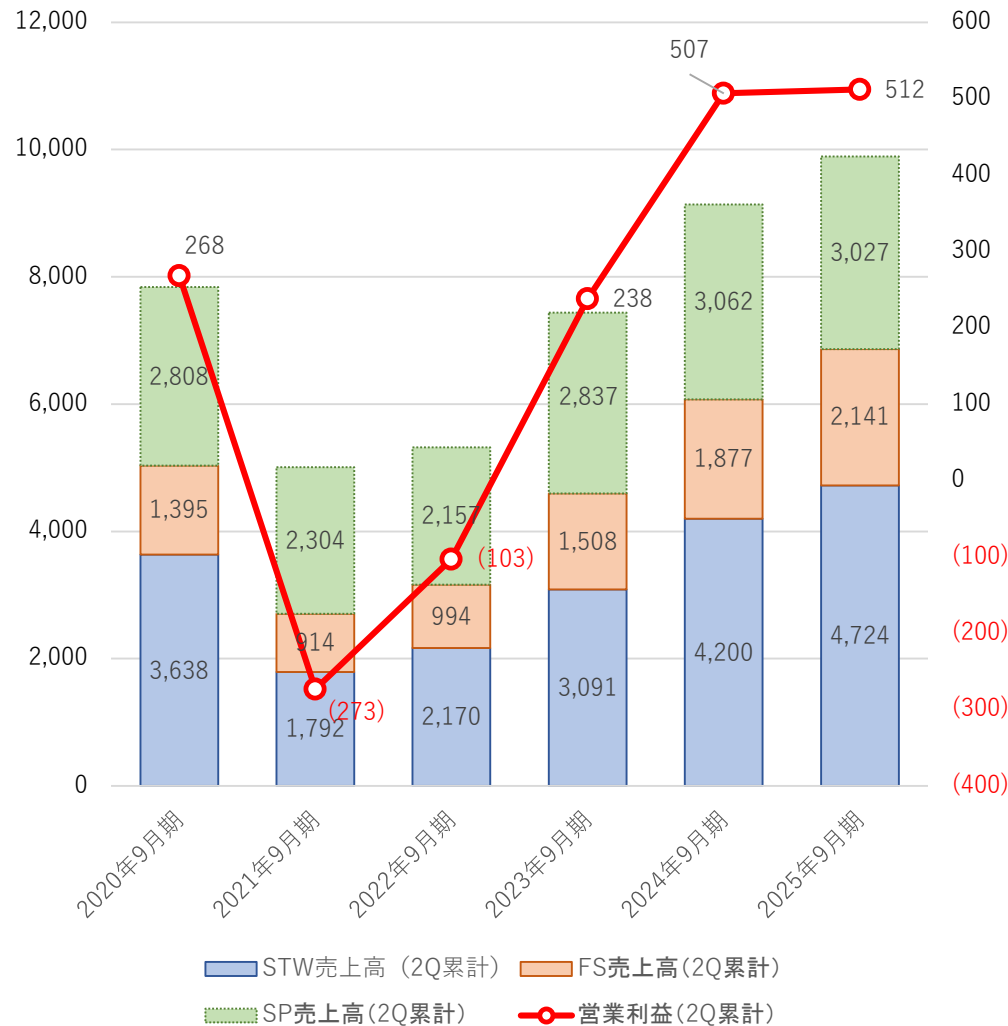
通期 経常利益は、対前期減益予想から一転、増益予想へ

	2024年9月期	2025年9月期 期初予想	2025年9月期 予想
売上高（千円）	17,631,382	19,018,479	19,230,959 (+9.1% / +1.1%)
営業利益（千円）	595,967	600,000	657,028 (+10.2% / +9.5%)
経常利益（千円）	630,260	613,527	684,371 (+8.6% / +11.5%)
当期純利益（千円）	429,039	453,792	505,978 (+17.8% / +11.5%)
1株当たり当期純利益（円）	85.90	90.86	101.04 (+17.6% / +11.2%)

※配当は期首予想の第2四半期末15円、期末15円、計30円を据え置き

※( )内は、前年比 / 期首予想比

## スチュワード事業が好業績を牽引



### ストックビジネス

#### スチュワード事業

- 食器洗浄・管理／厨房清掃／客室清掃

#### フードサービス事業

- 食堂の運営／ホテル朝食レストランの運営／介護施設の食事提供

### フロービジネス (一部ストック)

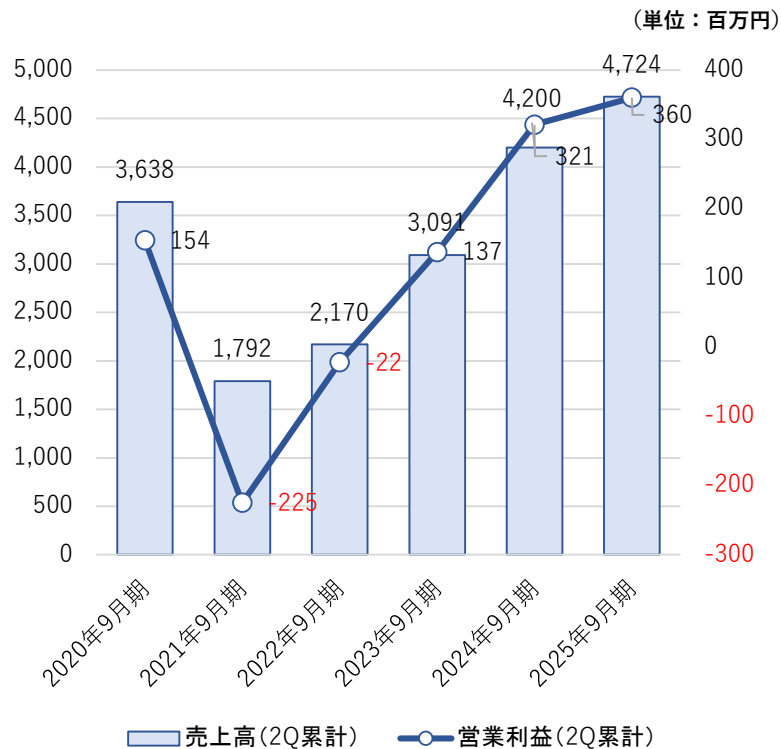
#### 空間プロデュース事業

- 防犯カメラ、AV機器等の販売・保守／BGM・香りのサブスク／BGM・映像によるブランディング支援
- 音響機器の卸販売／会議システムやオーディオシステムの卸販売

※ 連結売上高は連結会社相互間の内部売上高を除いております

## スチュワード事業

- 上半期累計で新規事業所9件を開業し、通年の新規開業見通しは16件に、今期に新たに受託開始する案件による今期売上予算に対する着地見通しは、第2四半期連結累計期間において9割程度まで進捗



ホテルグランヴィア広島サウスゲート様にて、スチュワード業務を受注。JR西日本グループ様が広島市・広島電鉄とともに進めてきた広島駅再開発による広島駅新駅ビル開業に伴い3月オープン。広島駅直上のロケーションが話題に。





タイムアウトマーケット大阪様にて、スチュワード業務を開始。世界各地に展開するタイムアウトマーケットは、開発盛んな梅田北エリアの「グラングリーン大阪」南館に3月、アジア初進出。

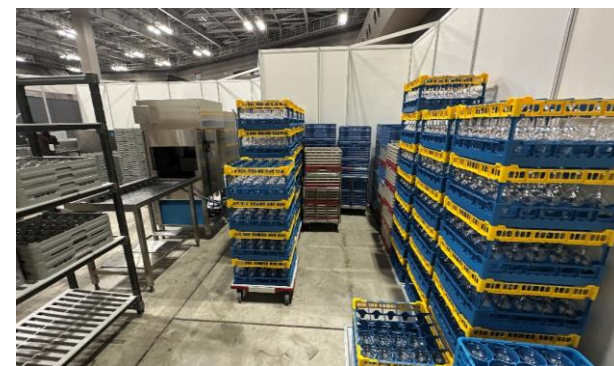




# 事業トピックス



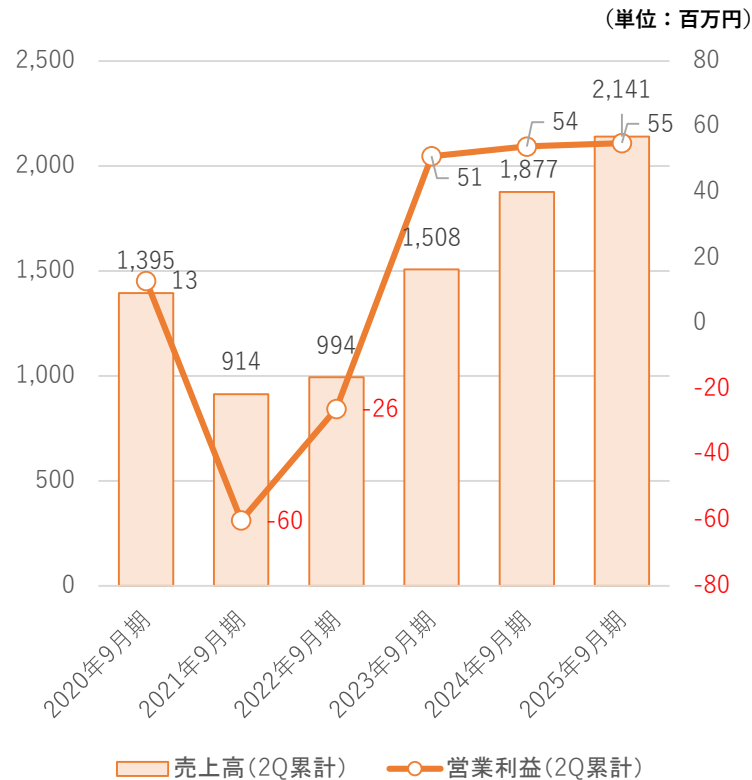
4月に東京ビッグサイトで開催された世界的ワインイベント「ProWine Tokyo 2025」の株式会社ウィンターハルター様のブースにて、グラスラック回収・運搬から、洗浄および純水仕上げ～乾燥までの一連の洗浄業務を実施。3月開催の「FOODEX JAPAN」でも同業務を受託。



# セグメント毎の業績推移

## フードサービス事業

- 上半期累計で新規事業所開業は8件となり、通年の新規開業見通しは15件に、ホテル朝食等レストラン、従業員食堂等コントラクト、サービス付き高齢者向け住宅給食等ケアフードの3セグメントの売上構成は凡そ65%：28%：7%程度と第1Qと同水準



**株式会社ファンケル様の従業員食堂「学べる健康レストラン」運営を受託。**「美」と「健康」を支える企業への提供メニューは、塩分値や野菜摂取量等、健康に配慮した献立が基本となっており、ファンケルの商品「発芽米」「極だし醤油」「ケール青汁」もレシピに組み込まれています。



4月より開始した**EXPO 2025 大阪・関西万博にて大手食品メーカーが運営するレストランブース運営に参画。**食品メーカーが大阪・関西万博向けに開発した食材を使用し、未来型の省人化による飲食店モデルによっておもてなしを提供。



## 空間プロデュース事業

- 東洋メディアリンクスは、銀行等金融業界の監視カメラ及びLEDサイネージ更新需要、企業・学校等の施設のAV・放送設備更新などの売上・収益貢献によって、堅調な業績推移
- 音響特機は、前年同時期に収益性の高い複数の大型案件を納品したことの影響を受け、対前年比実績は厳しい結果



TOYO MEDIA LINKS



東洋メディアリンクスは、サイバーセキュリティソリューションをBPOとして展開する**バリオセキュア株式会社様との業務提携に関する基本合意書を締結**、映像や音声信号をIPネットワーク(LAN)で伝送する“AV over IP”の導入が進み、データのクラウド管理が主流となる時流に則って、セキュリティ対策の負荷増大に対応すべく、本提携により時代の要請に応えた最適なソリューション提供を実現へ



**CSSグループ入社式**が4月1日に行われ、23名の新しい仲間を迎えることとなりました。ホテル、レストラン、観光、レジャーなどの分野のバックヤードを支えるスペシャリストとして、当社はクライアントのサービス品質を支えることを通して「世界のホスピタリティを進化させるパートナー」でありたいと切望しています。その未来を創る人財こそが彼ら彼女らであり、共に切磋琢磨して日本のホスピタリティ品質をさらに高めることに貢献することを共有してのスタートを切りました。







セントラルサービスシステムは、かねてよりダイバーシティ推進部を新設し、多様な国籍の人材に対応できるよう取り組み、新たに外国人正社員の採用を実施するにあたっての受け入れ等の準備をすすめてまいりました。2025年5月には**ネパールより7名が来日して入社**、入社式や交流会、会社見学など、日本人スタッフと触れ合う機会からキャリアをスタートしました。業務スキルはもちろんのこと、当社事業におけるマネジメント人材として、増加するクライアントの外国人要人や当社従業員を含む業界業務の担い手の外国人とのコミュニケーションの担い手としても大いに期待しています。





## 免責事項

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



CSSグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

## お問い合わせ

株式会社CSSホールディングス 経営企画室

TEL 03-6661-7840

FAX 03-6661-7841

E-mail [hld-info@css-ltd.co.jp](mailto:hld-info@css-ltd.co.jp)